

宇都宮市上下水道基本計画 概要版

～上下水道サービスの質を高めるために～

別紙

基本計画の概要

◆策定の趣旨

信頼される経営を確立し、お客様満足度を向上させていくために、上下水道サービスの質を高めることが重要である。
このため、本市の中長期的な上下水道事業の方向性を示し計画的に事業を推進する「宇都宮市上下水道基本計画」を策定する。

◆計画の位置づけ

市の計画
「第5次宇都宮市総合計画」における個別計画
国の計画
「水道ビジョン（厚生労働省）」及び
「下水道ビジョン2100（国土交通省）」における地域ビジョン

◆計画期間

平成20年度から平成29年度までの10年間
(前期5年、後期5年)

取り組みの基本的な考え方

今後一層、お客様満足度の向上に向けて『上下水道サービスの質を高める』ため次の6つの柱を掲げ、重点的に取り組む。

- 1 高品質で安全な水を安定供給するための『水道水の安心給水の推進』
- 2 生活排水と雨水を適正に処理し、快適な生活環境を確保するための『下水の適正処理の推進』
- 3 災害に強いライフラインの確立と危機管理体制の強化を図るための『危機管理の強化』
- 4 環境負荷の低減を図り持続可能な循環型社会に貢献するための『環境保全の推進』
- 5 お客様ニーズを的確に対応し、お客様満足度の向上に努めるための『お客様サービスの充実』
- 6 財政構造改革と人材育成により経営基盤の強化をはかり信頼性を確保するための『信頼経営の推進』

施策事業の概要

1 水道水の安心給水の推進

- 1-1 水道水の高品質化の推進
- ・水源地の水質保全（水源監視体制の充実など）
 - ・水質検査の充実（水安全計画の策定、推進など）
 - ・高度浄水処理技術の研究（活性炭の活用など）

施策指標：塩素臭から見たおいしい水の達成率
H19 75% → H24 100%

1-2 安定給水の確保

- ・水資源の確保
- ◎安定給水に必要な貯水能力の向上

施策指標：配水池容量12時間分の確保率
H19 81% → H24 100%

1-3 水道施設の適正な管理

- ・積極的な漏水対策の推進
- ◎耐震性、長寿命化を考慮した施設の改築・更新

施策指標：老朽配水管更新率
H19 — → H24 78%

2 下水の適正処理の推進

- 2-1 生活排水の適正処理の推進
- ・汚水管渠、水再生センター、ポンプ場の整備・増設
 - ◎合流式下水道の機能改善

施策指標：合流式下水道改善率
H19 — → H24 65%

2-2 雨水対策の推進

- ◎緊急度の高い重点排水区の雨水幹線等の整備
- ・雨水貯留・浸透施設設置の促進

施策指標：重点8排水区雨水幹線整備率
H19 56% → H24 80%

2-3 下水道の適正な管理

- ・積極的な不明水対策の推進
- ◎耐震性、長寿命化を考慮した施設の改築・更新

施策指標：老朽管渠更新率
H19 — → H24 30%

3 危機管理の強化

- 3-1 災害や事故に強い上下水道の確立
- ・緊急時対応の強化（実践的な訓練の実施など）
 - ◎施設の耐震化及び応急給水拠点の整備
 - ・応急復旧体制の強化（復旧工事資材の調達体制の確立）
 - ・施設警備体制の強化

施策指標：浄水場・水再生センターの耐震診断実施率
H19 — → H24 100%

4 環境保全の推進

- 4-1 二酸化炭素排出量の削減
- ・太陽光発電の推進
 - ・小水力発電の推進
 - ・下水汚泥の有効活用

施策指標：CO₂排出量削減率（対1990年比）
H19 2.7% → H24 14%

5 お客様サービスの充実

- 5-1 お客様サービスの高品質化
- ・総合的な受付サービスの向上
 - ・広報広聴活動の充実

施策指標：お客様満足度
H19 65% → H24 70%

6 信頼経営の推進

- 6-1 経営基盤の強化
- ◎財政基盤の強化（費用の抑制、企業債残高の縮減など）
 - ・人材育成の強化
- 6-2 経営の効率化
- ・民間的経営手法の活用
 - ・情報通信技術（ICT）化の推進

施策指標：企業債残高（水道）
H19 558億円 → H24 489億円
(14%以上削減)

施策指標：企業債残高（下水道）
H19 977億円 → H24 832億円
(20%以上削減)

(◎印は重点事業)

現状と課題

◆水道事業

【安心】安全で良質な水が供給されているか

- ・厳しい水質基準を全てにおいて達成している一方で、さらに安全でおいしい水を望むなど水道水の品質に対する関心が高まっている。
⇒高品質で安全な水を常に供給することが必要

【安定】いつでも使えるように供給されているか

- ・水道供給の現状は、水道加入を希望するほぼ全ての市民に安定供給している。今後とも人口・景気の動向、気候の影響など様々な要因を加味し、安定した水の確保が求められている。
⇒水源の適正管理、水量の確保が必要
⇒安定給水のための水道施設の整備が必要

【管理】維持管理が適正になされているか

- ・水道施設等の老朽化が進んでおり、効果的な漏水対策、修繕工事などによる施設等の延命化が求められている。
⇒漏水の抑制及び水道施設や配水管の計画的な改築・更新が必要

◆下水道事業

【快適】生活排水が適正に処理されているか

- ・公共用水域の水質改善を図るため、今後とも地域の状況に応じた下水道整備が求められている。また、合流式下水道が河川に影響を与えていることから機能改善が求められている。
⇒合流式下水道の機能改善が必要

【安心】市街地の浸水被害は解消されているか

- ・浸水被害の解消を図るため、特に緊急度の高い8排水区を中心に対策を講じることが求められている。
⇒公共下水道雨水幹線の整備、雨水の流出抑制が必要

【管理】維持管理が適正になされているか

- ・下水道施設等の老朽化が進んでおり、予防保全的な修繕工事などによる施設等の延命化が求められている。
⇒下水道施設や管渠の計画的な改築・更新が必要

◆危機管理体制

【安全】危機管理は万全か

- ・本市は大地震などの災害が少ない都市といわれているが、将来にわたってライフラインを維持することが求められている。また、新たな脅威に対する対策が求められている。
⇒緊急時体制の強化など災害に強い上下水道の確立が必要
⇒上下水道施設の耐震化が必要

◆環境保全

【環境】環境への影響を低減しているか

- ・持続可能な循環型社会に貢献するため、環境にやさしい事業運営をすることが求められている。
⇒環境負荷の低減に積極的に取り組むことが必要

◆お客様サービス

【満足】お客様満足度の高いサービスを提供しているか

- ・お客様ニーズを踏まえた事業運営の展開やお客様満足度の向上が求められている。
⇒お客様ニーズに対応したサービスの充実強化が必要

◆信頼経営

【信頼】お客様に信頼される健全な経営をしているか。

- ・料金収入の大幅な増加が見込まれない中、新たなニーズへの対応が求められており、厳しい財政状況が続いている。
⇒財政構造改革による経営基盤の強化が必要
⇒効率的な経営の推進が必要